

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		16年度	15年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	17,828	17,817	11	0.06
消防費歳出総額(b)		1,049	1,047	2	0.1
(b) / (a)		5.8	5.8		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	17,548	17,545	3	0.1
消防費歳出総額(d)		878	863	15	1.7
(d) / (c)		5	4.9		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、最高は芝山町の10.0%であり、次いで大栄町の9.3%、袖ヶ浦市の8.3%となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成16年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、1世帯当たりの額の最高は、芝山町の188,899円であり、次いで栗源町の114,164円、大栄町の107,831円の順である。

一方、住民1人当たりの消防費を市町村別にみると、芝山町の56,845円を最高に、栗源町の32,976円、大栄町の31,322円の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目・年度		12	13	14	15	16
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	47,306	41,330	39,714	39,735	45,497
住民1人あたり		17,674	18,327	17,611	17,650	17,403
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	34,739	39,366	38,587	38,905	38,106
住民1人あたり		13,424	14,707	14,416	14,550	14,576

(3) 経費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次の図のとおりであるが、消防費のうち人件費がかなり高い割合を占めており、全体に占める割合は 65.0%である。

平成16年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：千円

